

事業概要書

事業名	SONERS/SURVIVAL SELF RESCUE PROJECT 被災地の子どもたちのサバイバル・セルフレスキュー体験会と地域防災教育 in 大磯ロングビーチ				
開始日	2011年8月27日	終了日	2011年9月26日	日数	31日
団体名	特定非営利活動法人 SONERS (地元協力団体：NPO 法人森は海の恋人)				

総額（税込）	総費用額 7,416,160円	スタッフ人数	企画運営5人 当日スタッフ12人		
--------	-----------------	--------	------------------	--	--

事業目的	<p>沿岸部に暮らす人々が、東日本大震災のような大規模な津波を含む水害に直面した際に、自らの命を守り最悪の状況を回避する技法である「サバイバル・セルフレスキュー（SSR）」プログラムを活用出来るようになるための第1歩として、東日本大震災の被災地の子どもたちが東海地方の大磯地域において、地元の子どもたちにその全体像を伝えると共に、初歩的な技法を共に体験してもらうことを通して、全国に防災と自助・共助の重要性について啓発することを目的とする。これに加え、被災地の子どもたちが被災地から離れた場所で県外の子どもたちと共に遊べる場を提供することも目的としている。</p>
事業全体の概要	<p>●サバイバル・セルフレスキュー（SSR）とは</p> <p>本年3月11日に発生した東日本大震災においては、多くの人々が地震被害そのものではなく、巨大な津波に巻き込まれて溺死したり、流されている瓦礫にあたりたりして命を落としました。</p> <p>その後も規模の大きい地震が日本全国で頻発していることから、1000年に一度といわれる大災害とまではいかなくとも、中小規模の津波が日本のどこかで発生する可能性があります。</p> <p>そうした状況において、今回の津波被害を教訓に、防災という観点からも、今後も発生しうる津波を中心とした水害への対策を長期的に考え実施して行くことが急務の課題であると言えます。</p> <p>また、津波に強いまちづくりと共に、災害を免れる能力に長けた個人を育成することも重要な課題であると言えます。</p> <p>当会においては、特に沿岸部で暮らす住民が、そうした巨大な津波を中心とした水害に直面した時に、自らの命を守る、あるいは他人を助けることにより、最悪の状況を回避するための総合的なサバイバル技法である、「サバイバル・セルフレスキュー（SSR）」プログラムを開発し、その普及に取り組んでおります。その一環として、8月27日、28日の両日、気仙沼市の唐桑中学校において、着衣泳講習会を実施し、約100人の子</p>

	<p>どもや一般の方に参加いただきました（参加者アンケートより、講習会に満足・ほぼ満足との回答が 100%でした）。</p> <p>今回の体験会は、参加者の皆様に着衣泳を含む SSR の全体像について把握してもらうと共に、その初歩的な技法を 2 日間にわたって体験してもらいます。</p> <p>●開催地の選定について</p> <p>以下の点を考慮の上、開催地を大磯ロングビーチに決定しました：</p> <p>(1) 9 月末の東北被災地は寒くなることが予想され、地元のプールを利用して体験会を行うことが難しい可能性があること。</p> <p>(2) 招待する被災地の子どもたちに、体験会を受講する事に加え、遊ぶ機会を提供することが出来ること。</p> <p>(3) 東日本大震災を受け、今後発生する可能性のある東海地震などの大震災及び津波に備え、その一部である大磯で実施することにより、全国への実践的な防災訓練の一つとして紹介していくことが出来ること。</p> <p>大磯を中心とした地元の子どもたちにも広く参加を募るべく、大磯町及び大磯町教育委員会への後任を得た上で、地域の小中学校への体験会の告知を行っている。また、地元の団体である「いそっこ海の教室」や「オーシャンファミリー」、地元の子ども委員会、地域のケーブルテレビ、ライフガード協会、県会議員などに広く体験会を紹介し、参加の呼びかけをお願いしています。</p>
<p>事業内容(事業種別 (コンポーネント) ごと)</p>	<p>裨益者 (誰が、何人)</p>
<p>被災地の子どもたちのサバイバル・セルフレスキュー体験会と地域防災教育 in 大磯ロングビーチ 実施要領案</p> <p>(1) 日時：平成 23 年 9 月 23 日 (金) ～ 25 日 (日) 2 泊 3 日</p> <p>(2) 場所：神奈川県大磯ロングビーチ (宿泊先：併設の大磯プリンスホテル)</p> <p>(3) 内容</p> <p>主な体験内容は以下の通りです：</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 海辺及び川辺において、背浮きの状態で救助を待つ技法である「着衣泳」を始めとした安全に救助を待つ各種技法 ➤ 流れやうねりが大きい川など救助を待つことが難しい状況の中で、溺れずに危険を回避するための様々な技法 ➤ 安全に救助してもらうための技法 ➤ 救助を求める人を安全に助けるための技法 <p>(5) 参加費：無料</p> <p>主催 特定非営利活動法人 SONERS</p>	<p>対象：小学校 5 年生以上の子どもおよび一般の方</p> <p>定員：100 人 (被災地より子ども 20 人、東京および神奈川近辺より 80 人募集予定)</p>

運営協力
後援

NPO 法人 森は海の恋人
大磯町長、大磯町教育委員会、いそっこ海の教室

